



技術の担い手だよ

若手技術者編

田中俊匡さんが佐賀県庁を選んだ理由は、街の活性化だ。入庁して6年、未経験の分野にも積極的にトライし、自己成長につなげている。住民とのやり取りや、国への事業説明等の経験も増えた。そんな田中さんに、今後の目標やまちづくりについて伺う。

●この職業を選んだきっかけ

大学時代の研究室で、都市景観の重要性を体感したのが一番の理由です。恩師が福岡市内にある公園の再整備プロジェクトに、アドバイザーとして参加していました。そこで改めて公共空間の設計において、景観・動線等を考慮することの大切さを知りました。

たとえば、ベンチひとつでも、「いつ、誰が座るのか」「座りたくなる位置は」「人はどう歩くのか」等と、リサーチを繰り返しました。整備された公園に、多くの人が集うのを見て、まちづくりの仕事にやりがいを感じ、とくに生まれ育った佐賀の活気を取り戻したいと思い、公務員の道を選びました。

入庁してから配属されたのは、土木事務所や河川砂防課。まちづくりと直接関係のある部署ではありませんが、佐賀の活性化につなげられる仕事ができればと思っています。

●現場の魅力や責務

県の仕事は、構造物の大小に関わらず、設計・施工・維持管理と最後まで一貫して公共構造物に携わっていきける、そこが最大の魅力です。責務としては、地元目線であることだと思っています。

土木事務所勤務の際、住民から「問題があるから来てほしい」と連絡を受けたときのことです。その日は、別の要望対応で身動きが取れない状況でした。次の日に出向くと、破損箇所がやや大きくなっており、「昨日、来てくれれば」と強く叱られました。その出来事から、行政目線ではなく、地元目線に立って考えることの大切さを学びました。

●仕事のこだわり、ポリシー

「恥をかいてでも様々なことに挑戦する」ということを常に意識して仕事に臨んでいます。挑戦して成功すれば自分のモチベーション

担い手シリーズ 07

地元目線を忘れず「やってみる」の精神で未経験に挑戦する

田中俊匡 入庁6年目(計画調整担当 技師)(技術士補)
佐賀県 県土整備部 河川砂防課



田中俊匡 (たなかとしまさ)
佐賀県佐賀市出身。福岡大学社会デザイン工学科卒業。平成26年佐賀県入庁、唐津土木事務所勤務後、河川砂防課。

佐賀県庁
〒840-8570 佐賀市城内1-1-59
TEL: 0952-24-2111

<http://www.pref.saga.lg.jp/>

ン向上につながります。仮に失敗したとしても、恥をかくことで、その状況が記憶に残り同じミスは繰り返しません。

●仕事上で印象的なエピソード
河川砂防課に配属されて間がないころ、住民説明の機会がありました。資料も万端で臨みましたが、質疑応答でつまずき、回答に困っていると先輩方が助けてくれました。

チームワークの大切さを学んだと同時に、当時の歯がゆい気持ちは、資料を作成するとき等の原動力となっています。

●今後の目標と県庁職員を目指す人へ
佐賀の賑わいを取り戻すために、一緒に考えて行動できる人に県庁職員を目指してほしいと思います。街の活性化は時間がかかるうえ、たくさんの協力やアイデアが必要です。

私は公共デザインから、住民はもちろん、集客も意識した居心地のよい空間を生み出したい。河川砂防課では河川の整備計画、川を活かした憩いの場の創出等を考える機会が多くあります。河川から広がる、街の活性化を考えたいと思います。

また、資格取得も大きな目標です。狭き門ではありますが、資格取得も大きな目標です。狭き門ではありますが、資格取得も大きな目標です。狭き門ではありますが、資格取得も大きな目標です。